

慶應義塾大学

大学院健康マネジメント研究科

看護学専攻

公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

Keio University

Graduate School of Health Management

Major in Nursing

Major in Public Health, Sport and Health Sciences

2027

～研究科委員長からのメッセージ～

人々の生命と健康が尊重され、 誰もが社会の中で安心して暮らせる未来を切り拓く

慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科は、保健・医療・福祉の研究・教育・実践を先導する大学院として、2005年に開設されました。設立の背景には、少子高齢化や疾病構造の変化、医療技術の高度化、人々の健康に関する価値観の多様化などの諸事情に加え、これらを支える社会資源の有限性を看過できなくなった現実もありました。

本研究科は、取り扱う課題の特性を踏まえ、創設以来、諸科学の叡智を結集して総合かつ学際的な検討を行うことを重んじてきました。研究と教育の両面においてその深さと広がりを目指すとともに、現場との緊密な連携を通じて社会課題の把握・分析に注力してきました。こうした活動が可能となるのは、慶應義塾大学が総合大学として多様な分野の研究者を擁し、また部局間の垣根が低く、他部局との協働体制を容易に構築できる環境を備えてきたからに他なりません。さらに、本学が伝統的に重んじてきた「実学(サイヤンス)の精神」も、その基盤となっています。

この成果として、本研究科では、世界標準にとどまらず、「+アルファ」を備えた独自の教育が展開されてきました。ここでは、日本の保健・医療・福祉制度や文化的背景に立脚した独自の価値も息づいています。そして、この教育環境のもとで学んだ卒業生たちは、今日、国内外の多様な領域で人々の健康と福祉の向上に寄与しています。

こうした歩みを通じて、本研究科は学界並びに社会から厚い信頼を得るとともに、わが国を代表する「健康マネジメント」の研究・教育拠点として、未来に向けて進化し続けています。研究者として学術の進展を追求しようとする方、高度な専門知識を修得し実務の発展に尽力しようとする方 — その双方にとって、本研究科はかけがえのない学びの場となるでしょう。学術的・実践的問いと高い志を携え、この地に集い、知の地平を拓く挑戦をしていただきたいと願います。先人の知的成果を丁寧に紐解き、課題解決に真摯に臨む — そうした旺盛な探究心と熱意を持つ学生を歓迎します。



健康マネジメント研究科委員長
前田 正一

研究科概要

研究科名	健康マネジメント研究科	
専攻名	看護学専攻、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	
授与する学位	看護学専攻	修士(看護学)、博士(看護学)
	公衆衛生・スポーツ健康科学専攻	修士(公衆衛生学)、博士(公衆衛生学) 修士(医療マネジメント学)、博士(医療マネジメント学) 修士(スポーツマネジメント学)、博士(スポーツマネジメント学)
修業年限	修士課程2年、後期博士課程3年	
キャンパス	信濃町キャンパス、湘南藤沢キャンパス	

入学試験

出願資格等、試験の詳細は必ず当該年度の募集要項をご確認ください。募集要項は以下のURLからダウンロードできます。

■ 修士課程

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/grad/master/gshm/>



日 程	I 期	出願期間	2026年6月4日(木)～6月10日(水)
		試験日	2026年7月4日(土)
		合格発表日	2026年7月9日(木)
II 期		出願期間	2026年10月8日(木)～10月14日(水)
		試験日	2026年11月7日(土)
		合格発表日	2026年11月19日(木)
III 期		出願期間	2026年12月11日(金)～12月15日(火)
		試験日	2027年1月16日(土)
		合格発表日	2027年1月21日(木)
募集人員	看護学専攻10人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻30人 (注1)各期に募集人員枠は設けていません。 (注2)公衆衛生・スポーツ健康科学専攻では学位ごとの募集人員枠は設けていません。		
試験科目	小論文試験、面接試験		
試験会場	信濃町キャンパス 孝養舎		
その他	看護学 ・出願時に希望する分野(p.3参照)を1つ選んでください。 ・出願前に希望する分野の教員と面接することを推奨します。 ・看護学基礎教育課程以外の課程を卒業した者もしくは卒業見込みの者は、必ず事前にご相談ください。	公衆衛生学 ・出願時に希望するユニットを1つ選んでください。 ヘルスケアデータサイエンスユニット コミュニティ&ポピュレーションヘルスユニット ヘルス&ソーシャルケアユニット	

■ 後期博士課程

<https://www.keio.ac.jp/ja/admissions/grad/doctoral/gshm/>



日 程	前期	出願期間	2026年10月8日(木)～10月14日(水)
		試験日	2026年11月7日(土)
		合格発表日	2026年11月19日(木)
後期		出願期間	2026年12月11日(金)～12月15日(火)
		試験日	2027年1月16日(土)
		合格発表日	2027年1月21日(木)
募集人員	看護学専攻5人、公衆衛生・スポーツ健康科学専攻5人 (注1)各期に募集人員枠は設けていません。 (注2)公衆衛生・スポーツ健康科学専攻では学位ごとの募集人員枠は設けていません。		
試験科目	面接試験		
試験会場	信濃町キャンパス 孝養舎		
その他	・出願時に英語能力試験結果(TOEFL iBT、IELTS Academic、TOEIC Listening & Reading Testのいずれか一つ)を提出してください。 ・出願前に希望する指導教員に連絡し、研究計画等について説明・相談を行ってください。出願書類には説明・相談を行った日の記載欄があります。		

看護学専攻

専攻長からのメッセージ

看護学専攻では、新しい保健・医療・福祉の在り方を切り拓き、看護の先導者として社会に貢献できる人材の育成を目指しています。人々のウェルビーイングの向上や多様化・複雑化する健康課題の解決を支援する看護のベストプラクティスを探求・創出するために、高度な実践能力および研究能力を備えた人材の育成に取り組んでいます。

看護学の実践と研究において高度な専門性を有し、豊かな学際的経験を備えた教員陣が、学生一人ひとりの学びを多角的に支援します。在学中は知識やスキルの修得にとどまらず、多様な専門性や背景をもつ学生・教員、さらには関連機関との連携を通じて、学際的なネットワークを構築できる点も大きな魅力です。こうした学修経験を通じて、修了後には実践者、管理者、教育者、研究者として、看護学の発展に寄与することを期待しています。

看護学専攻の修士課程には、看護の専門性に応じた15の分野を設置しています。学生の関心に基づいて修士論文に取り組むコースに加え、がん、精神、老年、遺伝の4分野では、専門看護師(CNS)教育課程を併設しています。さらに、看護医療学部4年次に修士課程科目を先取り履修し、5年間で学士および修士の学位を取得できる「5年一貫教育プログラム」を設け、早期からの計画的なキャリア形成を支援しています。後期博士課程では、自立して高度な研究を遂行できる研究者の育成を目指します。海外招聘教授による研究指導や留学プログラムなど、グローバルな学修環境を整備している点も特徴です。

さらに、健康マネジメント研究科内の公衆衛生・スポーツ健康科学専攻との有機的な連携により、学際的かつ国際的な視点から看護科学を探究することが可能です。看護の未来を切り拓く新たな挑戦に、ぜひ一緒に取り組んでみませんか。



看護学専攻長
福田 紀子

研究科委員

教員の詳しいプロフィールは以下のURLからご確認ください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/gshm/faculty/>



氏名	職位	分野	専門
新井 康通	教授	老年看護	老年医学、疫学、百寿者研究
宇野 俊介	教授	国際保健看護	臨床感染症学、感染制御学、医療技術評価学
大坂和可子	准教授	成人看護	がん看護学、成人看護学、緩和ケア、看護情報学
杉山 大典	教授	公衆衛生看護	疫学、臨床検査医学、生物統計学
鈴木 美穂	教授	基礎看護	基礎看護学、がん看護
添田英津子	准教授	小児看護	小児看護学、看護教育学、移植看護学
田口 敦子	教授	公衆衛生看護	公衆衛生看護学・地域看護学
辻 恵子	准教授	母性看護	母性看護・助産学、遺伝看護学
富崎 悦子	専任講師	小児看護	小児看護学、小児保健
永田 智子	教授	在宅看護	在宅看護学
深堀 浩樹	教授	老年看護	老年看護学、家族看護学、看護管理学
福井 里佳	准教授	基礎看護、看護学教育	基礎看護学、看護教育学
福田 紀子	教授	精神看護	精神看護学、リエゾン精神看護学
藤井千枝子	教授	先端看護	先端看護学、看護技術、看護情報学、環境生態学
藤屋 リカ	准教授	国際保健看護	国際保健看護学
細坂 泰子	教授	母性看護	母性看護、助産学
堀口 崇	教授	成人看護	脳神経外科学、脳疾患の予防と疫学、医療安全
増田 真也	教授	精神看護	心理学、心理測定法
宮川 祥子	教授	先端看護	健康情報学、災害情報学
村上 好恵	教授	遺伝看護、クリティカルケア看護	遺伝看護、クリティカルケア看護、がん看護、サイコオンコロジー
矢ヶ崎 香	教授	成人看護、がん看護	がん看護学、成人看護学、緩和ケア

専門分野の構成

領域	分野
ライフステージケア領域	母性看護、小児看護、老年看護
クリニカルケア領域	基礎看護、成人看護、精神看護、がん看護、遺伝看護、先端看護、クリティカルケア看護
コミュニティケア領域	在宅看護、公衆衛生看護、国際保健看護
システムケア領域	看護管理・政策、看護学教育

授業科目

授業科目一覧は以下のURLもしくは右のQRコードからご確認ください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/gshm/major/nursing/course/>



専門看護師(Certified Nurse Specialist : CNS)プログラム

[概要]

日本看護系大学協議会による専門看護師教育課程基準を満たす教育課程として組み立てられたプログラムです。修士論文に代わり課題研究論文(CNS実習)を作成します。学生は、実習施設と担当教員の緊密な連携のもと実習指導を受けたうえで、実践的研究課題を取り上げ、講義・演習科目で培われた理論知のうえに立ち、CNS実習における実践知をふまえた総体的表現としての研究に取り組みます。

[対象分野]

がん看護分野、精神看護分野、老年看護分野、遺伝看護分野

[修了要件]

2年以上在籍し(休学期間を除く)、所定の授業科目を46単位以上修得し、課題研究論文の審査および最終試験に合格すること。(導入科目2単位、分析手法科目2単位、専門科目38単位、特別研究科目4単位)

海外研修

看護学専攻の希望者を対象に、マグネットホスピタルとして名高いメイヨークリニック(米国ミネソタ州ロチェスター)での研修を設けています。特にCNSプログラムの学生には、自身の関心領域に関して米国における高度実践看護師(Advanced Practice Registered Nurse : APRN)であるClinical Nurse Specialist(CNS)およびNurse Practitioner(NP)の役割・機能の実際について学ぶ機会です。

修了生の進路

病院をはじめとした施設、地域における高度看護実践者および管理職、大学等教育・研究機関における教育・研究職が主たる進路となります。

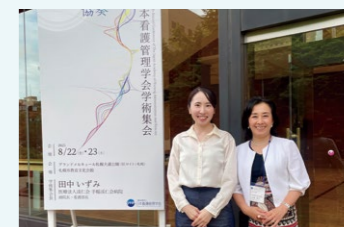
Column

問いから始まった、看護職のキャリア形成に関する研究

後期博士課程2年(看護管理・政策分野) 大野 星子

看護師として病院で働く中で、「看護職がウェルビーイングを高め成長しながらキャリアを形成していくためには、どのような働きかけが必要なのだろうか」という問いを抱くようになり、大学院への進学を決めました。進学前は研究経験がなく不安もありましたが、修士課程では研究手法に関する授業や指導教員による手厚い指導を受け、研究の基礎を学びながら進めることができました。その後、研究テーマをさらに深く探究したいという思いが強まり、後期博士課程へ進学し研究を継続しています。また現在は、学会や学術誌を通じて研究成果を発信し、現場や社会に役立てることを目指しています。

疑問に感じたことを探究していく過程は忍耐力も必要ですが、同じ問題意識をもつ仲間と出会い、互いに支え合いながら取り組むことで、やりがいや成長を実感することができます。今後も、研究に協力してくださる方々に感謝しながら、看護職のキャリア形成支援に貢献できるよう真摯に研究に向き合っていきたいと思えます。



質の高い心理社会的ケアの提供と精神保健医療福祉の発展を目指して

修士課程2年(精神看護分野) 滝田 あん

私は実務の中で、患者の個性の由来や看護実践の根拠に関心を寄せていました。しかし、目まぐるしく進む臨床現場では、これらの問いを追究し解決するための時間を十分に確保できず、葛藤を抱えていました。そこで、精神看護の本質の究明、専門職としてのキャリアの深化を目標として、大学院への進学を決めました。

本大学院では、看護学の枠組みを超え、公衆衛生学や社会保障制度といった広範な学際的知識に触れる機会に恵まれました。こうした多角的な学びを通じて、長年抱いていた臨床上の疑問を学術的に理解しただけでなく、かつて現場で不可避な課題として諦めていた事象が理論的に構造化され、解決の糸口を導き出せるようになったことは大きな収穫だと考えています。今後は、大学院で培った確かな根拠に基づく精神看護を礎に、多様な背景を持つ対象者へ質の高い心理社会的ケアを提供できる専門看護師として、精神保健医療福祉の発展に寄与していきたいです。



公衆衛生・スポーツ健康科学専攻

専攻長からのメッセージ

2025年10月より専攻長を拝命いたしました。2025年度には研究科設立20周年、公衆衛生プログラム開始10周年という大きな節目を迎えました。黎明期よりその発展と共に歩み、修了生が各界で活躍していることは私どもの誇りです。

本研究科は看護学専攻と連携し、多角的に「健康」を科学する体制にあります。公衆衛生・スポーツ健康科学専攻は、世界標準の「公衆衛生学」、効率的な医療福祉を目指す「医療マネジメント学」、スポーツ医学研究センター・体育研究所といった学内他部署との連携を活かした「スポーツマネジメント学」の3つの特色ある学位プログラムを擁します。次なる発展に向け、公衆衛生学位プログラムでは2026年度より、教員の専門性に応じた3つの「ユニット」制を本格的に導入いたしました。学生一人ひとりがキャリアビジョンに合わせ、より体系的に知識・スキルを習得できる環境が整っています。

社会課題が複雑化する今、科学的エビデンスとマネジメント能力を兼ね備えたリーダーが求められています。新しい価値を創造し、共に未来を切り拓く皆様の入学を心よりお待ちしております。



公衆衛生・スポーツ健康科学
専攻長

小熊 祐子

■ 公衆衛生学

すべての人々の健康とウェルビーイングの維持・向上を目指す実践の学問である公衆衛生学では、保健・医療・ケアにわたる幅広い領域で地域から地球規模にまで広がる健康課題の解決を図ることのできる人材が強く求められていること踏まえ、グローバルな健康課題解決の担い手として世界の健康長寿社会実現の先導者たらんとする人材の養成を目標としています。

■ 医療マネジメント学

保健・医療・福祉機関ならびに関連ビジネスには、より質の高いサービスの効率的な提供が求められ、また、サービス提供時にはサービス受領者個人のニーズを踏まえたきめ細やかな対応が求められることを踏まえ、医療マネジメント学では、それらを実現するためのマネジメントについて研究・企画・実践できる人材の養成を目標としています。

■ スポーツマネジメント学

スポーツを競技活動から運動、身体活動まで広義に捉えるスポーツマネジメント学では、個人や団体の健康の維持・増進に資する知識とビジネスマネジメント技能を統合することにより、健康水準の高い社会のあり方を企画・実践でき、スポーツ文化の振興とスポーツ産業の発展に貢献できる人材の養成を目標としています。

■ 研究科委員

教員の詳しいプロフィールは以下のURLからご確認ください。

https://drive.google.com/drive/folders/1iufcA-E802bboEXmtzXaqD8Tm4i_f0T5?usp=drive_link



氏名	職位	担当学位*	専門
秋山 美紀	教授	公	ヘルスコミュニケーション、コミュニティヘルス
新井 康通	教授	公医	老年医学、疫学、百寿者研究
石田 浩之	教授	ス	スポーツ医学、運動生理学、老年学
稲見 崇孝	准教授	ス	スポーツ科学、運動生理学、応用健康科学、バイオメカニクス
宇野 俊介	教授	公	臨床感染症学、感染制御学、医療技術評価学
大澤 祐介	准教授	公ス	スポーツ科学、老年疫学、運動疫学
岡村 智教	教授	公	循環器疾患予防、健康教育、地域保健
小熊 祐子	教授	公ス	スポーツ医学、運動疫学、健康行動科学
河井 啓希	教授	医	医療経済
権丈 善一	教授	医	公共政策、社会保障
岸本泰士郎	教授	公	行動科学、メンタルヘルス、予防医学
後藤 励	教授	公	医療経済学、医療技術評価
佐藤 和毅	教授	公ス	スポーツ医学・整形外科学(とくに手・肘の外科)および臨床疫学
佐藤 泰憲	教授	公	生物統計学、バイオインフォマティクス、臨床試験学
佐野 毅彦	准教授	ス	スポーツビジネス
島津 明人	教授	公	心理学、行動科学、健康科学、産業保健、精神保健学
杉山 大典	教授	公	疫学、臨床検査医学、生物統計学
武林 亨	教授	公	疫学・予防医学、産業保健・環境保健
原藤 健吾	准教授	ス	スポーツ医学、膝関節外科、バイオメカニクス
藤屋 リカ	准教授	公	国際保健看護学
堀口 崇	教授	公医	脳卒中の予防・治療・疫学・リハビリテーション、神経外傷、医療安全
堀田 聡子	教授	公医	ケア人材政策、人的資源管理、地域包括ケア
前田 正一	教授	公医	医事法、医療倫理、医療安全管理
宮田 裕章	教授	公医	ヘルスデータサイエンス、医療の質、医療政策
山内 慶太	教授	公医	医療マネジメント、精神保健
山本 渉	教授	公医	統計科学、品質管理、信頼性工学

*公：公衆衛生学、医：医療マネジメント学、ス：スポーツマネジメント学

■ 授業科目（2026年度開講予定科目）

シラバスは以下のURLもしくは右のQRコードからご確認ください。

<https://gslbs.keio.jp/pub-syllabus/search>



導入科目			
臨床入門	社会保障論	健康マネジメント概論	高齢社会デザイン論
経営戦略論	リサーチ・スキルズ	データサイエンス概論	データサイエンス超入門(数値データ)
総合知演習(環境サステナビリティ)			
分析手法科目			
基礎疫学	基礎生物統計学Ⅰ	基礎生物統計学Ⅱ	応用生物統計学
臨床試験方法論	疫学研究の統計的方法	ヘルスアウトカム評価論	ヘルス情報管理論
サービスデータサイエンス	クオリティマネジメント	多変量因果解析	質的研究法
データサイエンス超入門(テキストデータ)	データサイエンス超入門(画像データ)	データサイエンス実践	
専門科目			
医療政策・管理学	環境・産業保健学	公衆衛生マネジメント	健康行動科学
感染症疫学・サーベイランス	生活習慣病疫学	地域保健学	国際保健学
精神保健学	ヘルスコミュニケーション	ヘルスプロモーション	ヘルスサービス財務管理論
医事法学	リスクマネジメント論	医療経営戦略論	パーソナルケアシステム論
医療経済学Ⅰ	医療経済学Ⅱ	ヘルスビジネス知的財産論	医薬経済学
老年医学・高齢者スポーツ医学	運動生理学	運動疫学	バイオメカニクス・動作解析
健康スポーツ栄養科学	健康スポーツ経営論	健康スポーツマーケティング論	データ対話型病院経営論Ⅰ
データ対話型病院経営論Ⅱ	病院経営のためのケース教育習得法	病院経営Ⅰ	病院経営Ⅱ
ヘルスエコノミクス	レギュラトリーサイエンス	薬剤疫学・データサイエンス	医療制度とレギュラトリーサイエンス
QOLと費用の評価	費用対効果評価演習		
インターンシップ関連科目			
居宅サービス経営論	製薬産業論	医療機能評価論	健康都市デザイン論
公衆衛生実践	健康ビジネス開発論	医療政策提言・アドボカシー	医療経済評価特論
経済評価モデル分析演習	応用経済評価モデル分析演習	健康スポーツ地域デザイン論	健康スポーツ産業論
コーチング			
特別研究科目			
特別研究			

(注)公衆衛生学プログラムは、国際基準に則った基本5領域(生物統計学、疫学、医療政策・管理学、社会/行動科学、環境保健学)から構成されるコア科目が提供されています。

■ モデルカリキュラム

履修科目選択の参考資料です。詳しくは以下のURLもしくは右のQRコードからご確認ください。

https://drive.google.com/drive/folders/1zgwOQjb0f6IR7bpDwGjy-z6J6CULUQPs?usp=drive_link



早期修了制度

修士(公衆衛生学、医療マネジメント学)に限り、保健・医療・福祉の分野で一定の専門性と実務経験を有する者を対象に、早期修了制度を用いて在学1年での学位取得が可能です。

MBA-MPHプログラム

本研究科と本塾経営管理研究科によるプログラムで、公衆衛生とビジネスの双方に通じた人材の育成を目的としています。十分な実務経験のある者を対象とし、経営管理研究科在籍時に本研究科の科目を上限10単位まで履修できる制度等の活用により、計3年間で修士(公衆衛生学)と修士(経営学)が授与されます。いずれの研究科からも開始できます。

■ 修了生の進路

病院、介護施設、製薬会社、医療機器製造・流通会社、医療経営コンサルティング会社といった保健・医療・福祉関連団体や、大学、研究機関、シンクタンクといった研究教育機関、国、地方公共団体あるいは国際機関といった公的組織、スポーツ用品製造・流通会社、スポーツ団体(統括団体、クラブ等)、フィットネスサービス会社等のスポーツ関連団体に加え、広告会社、金融機関、保険会社、商社、経営コンサルティング会社、人材サービス会社、ITサービス会社等、卒業後の進路は多岐にわたります。

ケースとデータに基づく病院経営人材育成プログラム

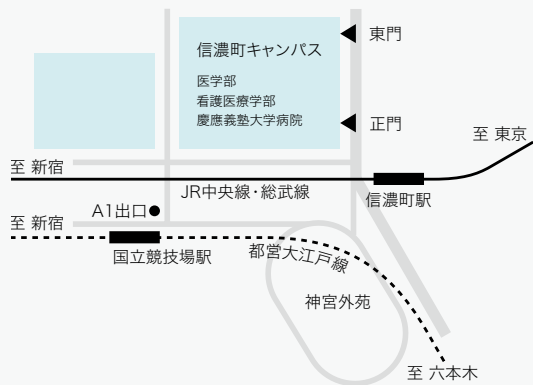
ケース討議を通じ、創発性に富みかつ課題発見と解決力・実行力のある実践的病院経営人材の養成を目的としています。履修者(5科目計10単位)にはサーティフィケート(修了証)が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

医療経済評価人材育成プログラム(HTAプログラム)

疫学・統計学関連および医療経済関連の授業を通じ、医療技術や医療制度を分析する人材育成を目的としています。履修者(11科目計20単位)にはサーティフィケート(修了証)が授与されます。すべての学位プログラムで履修可能です。

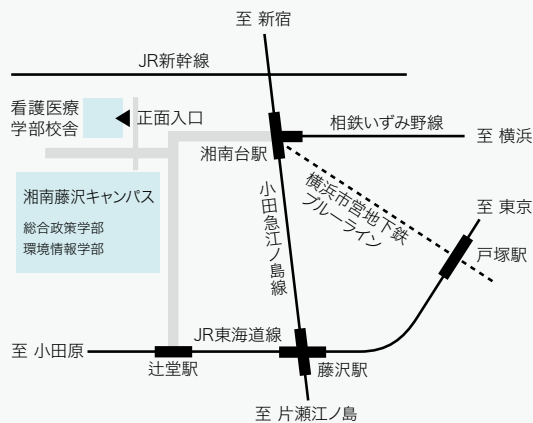
Campus

■ 信濃町キャンパス



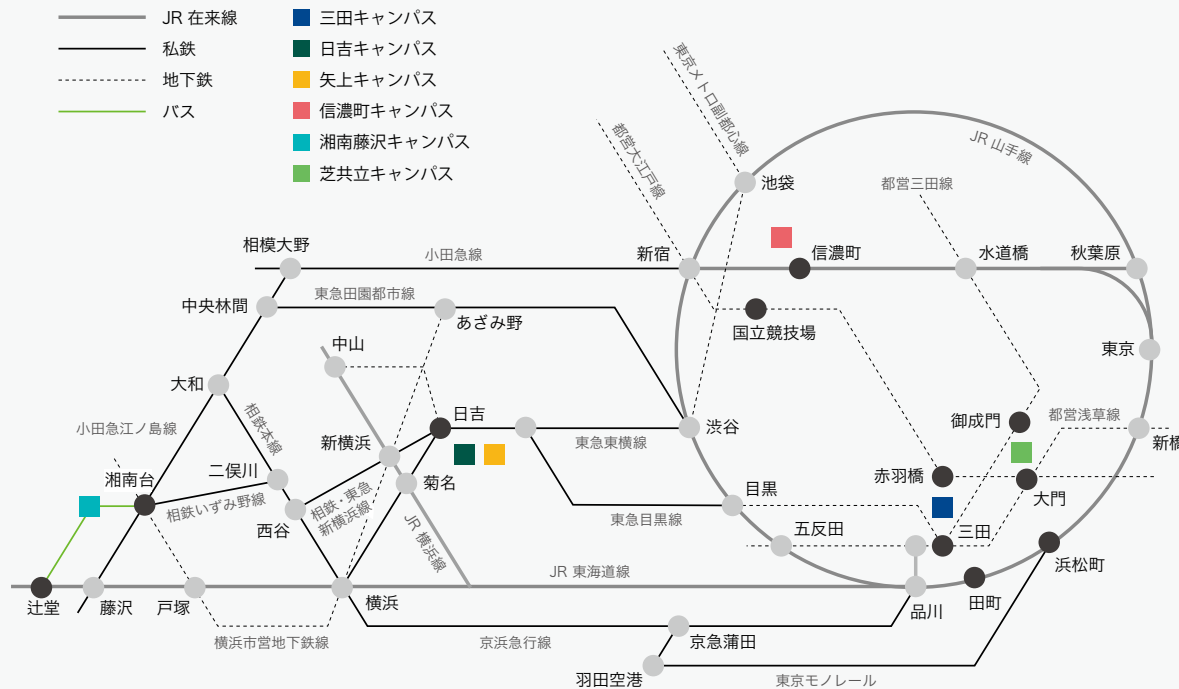
- 信濃町駅 (JR 総武線) 徒歩 1 分
新宿～信濃町＝約 6 分
東京～四ツ谷～信濃町＝約 15 分
- 国立競技場駅 (都営地下鉄大江戸線) 徒歩 5 分
新宿～国立競技場＝約 4 分

■ 湘南藤沢キャンパス (SFC)



- 湘南台駅 (小田急江ノ島線 / 相鉄いずみ野線 / 横浜市営地下鉄ブルーライン) 西口よりバス [慶応大学] 行き約 15 分
横浜～湘南台＝約 30～40 分
- 辻堂駅 (JR 東海道線) 北口よりバス [慶応大学] 行き約 25 分
横浜～辻堂＝約 25 分

Access



各キャンパスへの交通アクセスならびにキャンパスマップは以下の URL もしくは右の QR コードからご確認ください。

<https://www.keio.ac.jp/ja/maps/>



慶應義塾大学
大学院健康マネジメント研究科ウェブサイト
<https://www.keio.ac.jp/ja/gshn/>

Keio University

